

## 英語で模擬裁判！ 本学学生が最優秀弁論者賞を受賞

本学3年生の浦山太陽さんが、12月3日（土）に開催された国際人道法模擬裁判国内予選で個人賞である「最優秀弁論者賞」を受賞しました。

今大会は京都大学、東京大学、早稲田大学をはじめ過去最多となる8チームが出場し、武力紛争における文化財の保護等をテーマに、書面手続き・口頭弁論はすべて英語で行われました。本学からは瀬田真（国際総合科学群准教授・国際法）ゼミの学生チームが参加し、優勝した京都大学のチームに予選で惜しくも敗れましたが、「法の知識」「質問に対して回答する姿勢・能力」「時間管理」等が評価され、浦山さんが最優秀弁論者賞の栄光に輝きました。

浦山さんは2015年9月から今年5月までカリフォルニア州立大学モントレイ・ベイ校に留学。留学プログラム終了後も約2ヵ月現地に滞在し、見聞を広めながら英語によるコミュニケーション力を更に向上させたことも今回の受賞につながった一因であると語っています。

### 【大会概要】

#### 1 主催

赤十字国際委員会

#### 2 内容

- ・ 事前に示される問題について書面を提出し、12月3日（土）の模擬裁判国内予選で口頭弁論を審査（検察官・被告人が各2名ずつで計40分の弁論を行う）
- ・ 国際法全般（特に国際人道法）の知識や、裁判官の厳しい質問・指摘に対し事実関係や主張を英語で論理的に立証できるか等のポイントを基に審査

#### 3 参加大学（50音順）

京都大学、中央大学、東京大学、同志社大学、横浜市立大学、立命館大学、早稲田大学、  
4大学混成チーム（青山学院大学、東京大学、東京外国語大学、早稲田大学） 計8チーム

#### 4 結果

最優秀弁論者賞：浦山太陽さん（横浜市立大学）国際総合科学部国際都市学系グローバル協力コース3年  
※優勝校：京都大学（優勝校は2017年3月に香港で開催されるアジア・太平洋地域大会の出場権を獲得）



模擬裁判の様子。一番右が浦山さん ©ICRC



浦山太陽さん（左）と日本赤十字社の森正尚氏（右） ©ICRC

【本人への取材をご希望の方は下記お問合せ先までご連絡ください】